

死亡災害の撲滅、墜落・転落災害を防ぐために

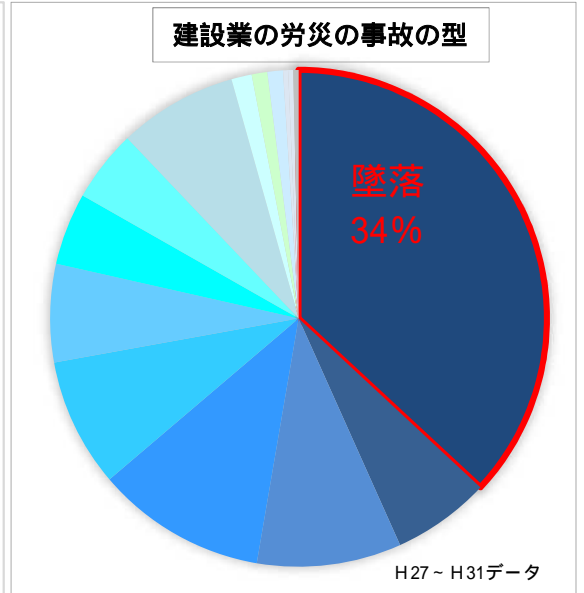
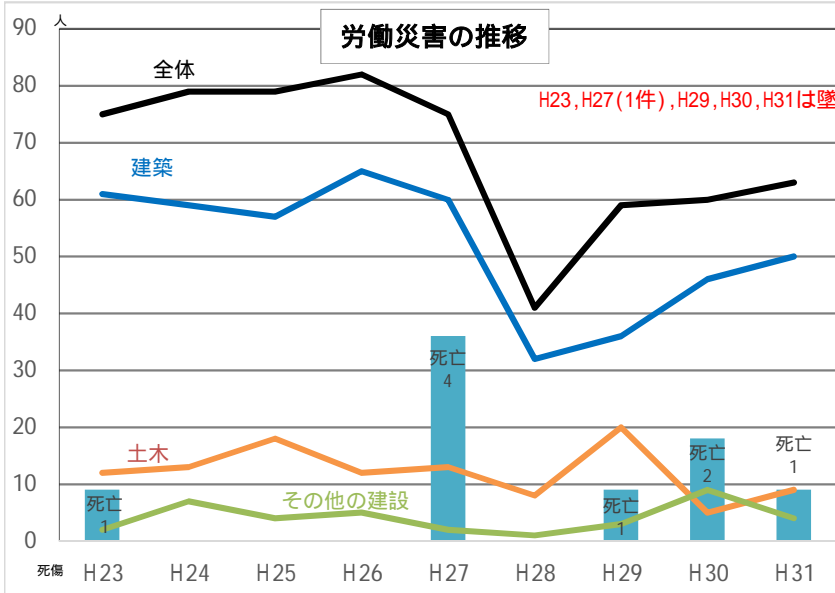
～ 脚立、足場、屋根等からの墜落防止強化～



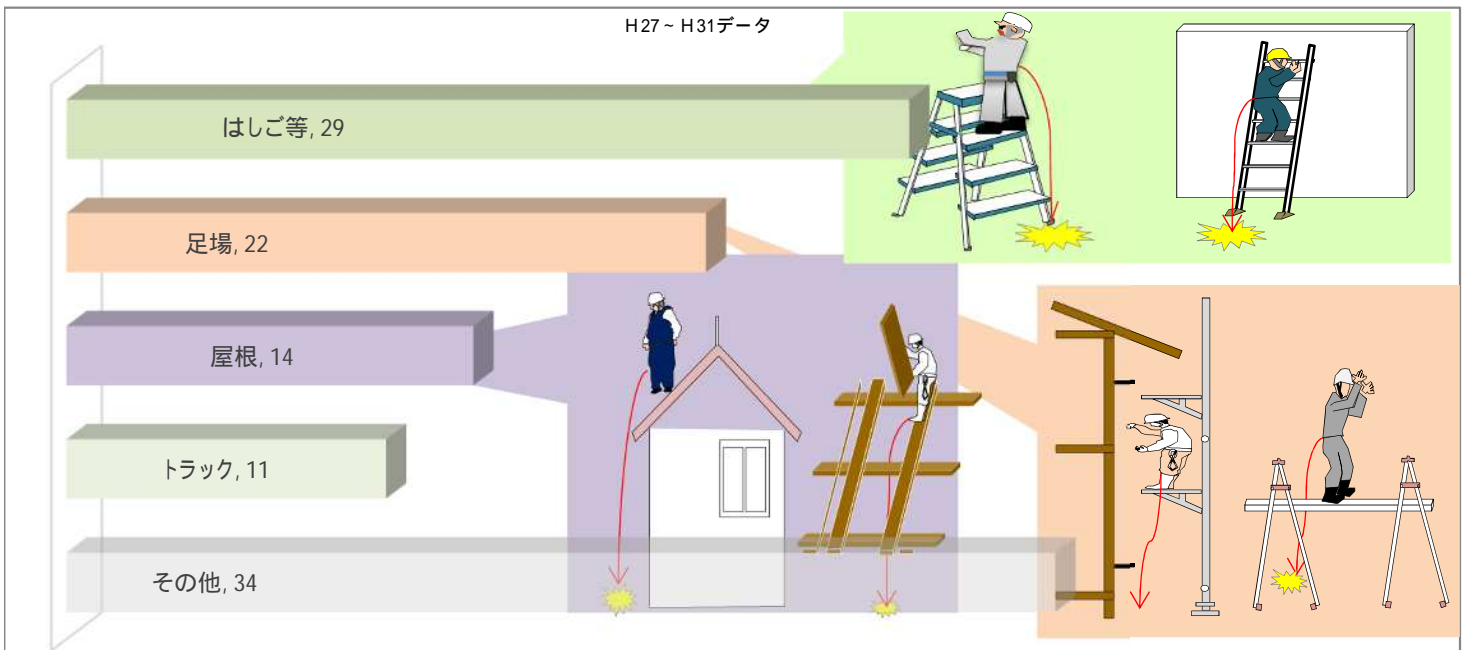
第13次労働災害防止計画(3年度) 推進中

建設業の労働災害

墜落による死亡災害発生、依然として墜落災害の割合が高い



建設現場で「墜落・転落」災害の危険性の高い作業、場所



ハーネス型安全帯の使用

職長の再教育を受講しよう

< 利点 >

- 身体から抜けにくい
- 墜落阻止時の衝撃分散 (胸・腹部の圧迫低減)
- 宙づり状態でも負担軽減

フルハーネス型安全帯の着用について、法改正しました



ハーネス型安全帯

「職長」は現場の労働災害防止のキーマン！

< 対象 >

- 職長従事から概ね5年経過後
- 機械設備に大幅な変更あった時

< 教育カリキュラム > ➡

科目	時間
職長等及び安全衛生責任者として行うべき労働災害防止に関すること	120分
労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	60分
危険性又は有害性等の調査等に関すること	30分
グループ演習	130分

墜落防止対策のポイント

1. はしご等 (脚立・立ち馬・はしご)

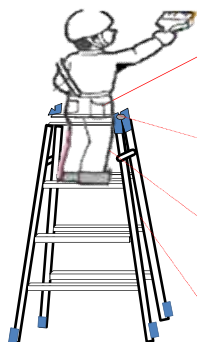
まず検討！

はしごや脚立の**使用自体を避ける**
墜落の危険性が相対的に低い用具へ変更
(ローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立等)

【手すり付き脚立(例)】 【可搬式作業台(例)】



使用する場合の「**ルールの定め**」「**安全使用のポイント**を」教育

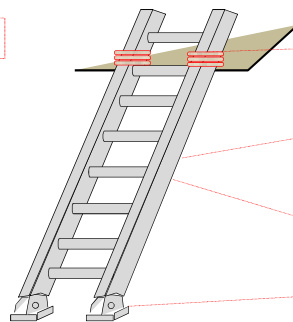


身を乗り出さない(位置を直す)

天板作業禁止

反動のある作業しない

3点支持での昇降



はしご上端固定・突き出し

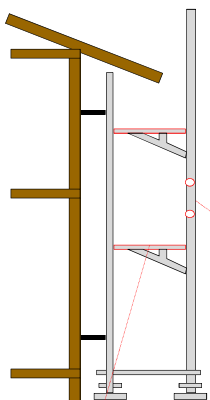
はしご上作業しない

3点支持での昇降

滑動防止(又は補助)

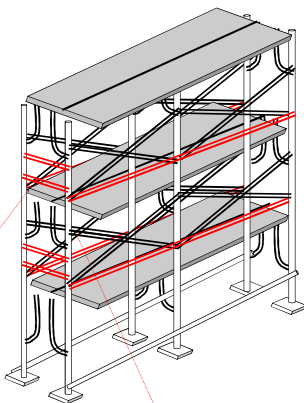
2. 足場等

原則、**枠組・本足場(幅40cm以上)**を採用



作業床の確保
(幅40cm以上)

手すり、
中さんの設置



下さんの設置
躯体側も必要に応じて

足場からの墜落・転落災害防止
総合対策推進要綱

足場に関する
作業段階ごとの
留意事項

・設計時
・組立て/解体時
・作業時



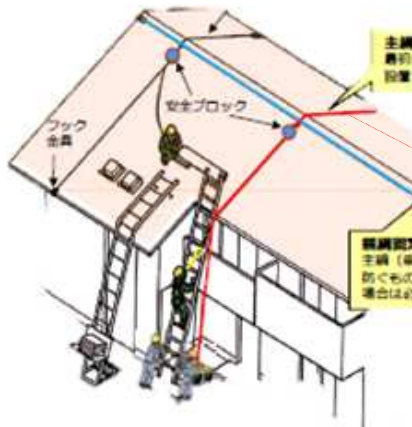
詳しくはこちら

足場 総合対策

検索

3. 屋根、梁等

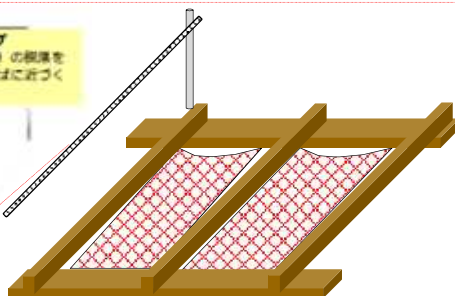
親綱、安全帯の使用の徹底



安全帯の使用(親綱)
防網(安全ネット)

主綱の設置(地上から、移動はしご)
安全ブロック、親綱
安全帯の使用

親綱固定ロープ
主綱(垂直親綱)の脱落を
防ぐもの。けりばに近づく
場合は必要。



墜落防止のための安全設備設置の
作業標準マニュアル

短期間の屋根作
業等の安全帯取
付け設備の設置
方法

・太陽光パネル取付
・屋根改修等



詳しくはこちら

足場の設置が困難

検索